

業務仕様の全体最適化と再利用を目指すコーポレトリポジトリ

TheRepository(ザ・リポジトリ)は、データ総研が270社、750件以上のプロジェクト経験から開発した次世代リポジトリです。

リポジトリの必要性：情報システムをとりまく環境

●統制が厳しい現状のシステム環境

企業の歴史と共に、レガシーシステムは複雑化しています。

複数のシステム環境が共存し、本来同じ意味であるはずのデータが、業務システム間で定義名称や桁数形式、コード値が異なる…など、混沌とした状態をよく目にします。

●ビジネス形態の多様化・広域化

ビジネスもシステム環境も激しく変化するにつれ、新しい経営施策が推進され、新しいシステム環境も増えていきます。

両者の連携は大きな課題です。複雑多岐に渡る課題に即応するため、情報システムへの要求はますます難易度の高いものになっていきます。

●コンプライアンス(法令遵守)

企業が発展し続ける限り、ビジネスデータは増加し続けます。このような膨大なビジネスデータについて、個人情報保護法、日本版SOX法、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS) 基準への対応など、情報システムへの要求や規制が適用されることとなります。

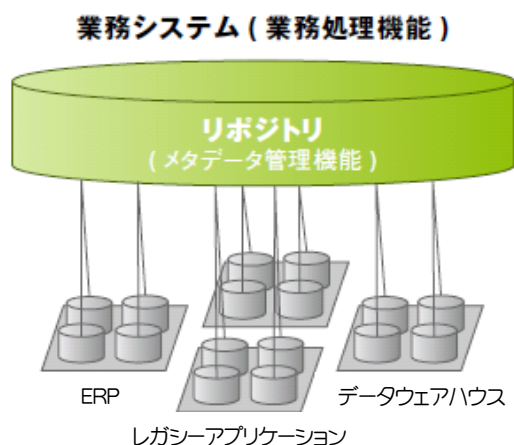
TheRepositoryは、このように解決します！

企業価値を高める情報システムのインフラとは…

情報の整備・管理レベルによって、企業価値が評価されてしまう時代です。

今後、企業価値を高める情報システムを保持し続けるためには、これらに適応できるインフラは必須です。

ビジネス変化に即応できる柔軟な構造を持ち、ビジネスデータの整合が事業・企業レベルで保証されている、そんなしくみとしてデータの全体管理機能(リポジトリ)が求められます。



情報の整備・管理は規模との戦いです。

しかし、情報は適切なストレージに保管さえしておけばよい、これでは企業資産としては全く価値がありません。

膨大な情報からビジネスデータとして適切に取り出せ再利用できる、このような状態で格納することで初めて資産価値が生まれるのです。そのためには、ビジネスのデータ仕様、プロセス仕様を整理した上でシステムで扱うデータと紐付ける必要があります。

この具体的な仕様にあたるものがメタデータです。

つまり、メタデータは企業の業務仕様そのものなのです。

そして、これを管理するしくみがリポジトリ(メタデータベース)です。

TheRepository のコンセプトは「企業の業務仕様の保管庫」です。

業務ルールを、業務管理者、システム設計・開発・保守担当者をはじめとする、情報を取り扱う方々の間で共有し、事業・企業レベルで整合統制するコーポレトリポジトリです。



THRepositoryのコンセプト：企業の業務仕様の保管庫

●全体最適化

「概念」と「物理」の2つの階層を設け、現状のシステムで管理しているメタデータはそのまま「物理」レベルに定義します。
この「物理」とは別に、業務仕様上、統一すべき対象であれば、その上位に業務上の正しい意味を「概念」として定義し、紐付けます。
これにより、企業の業務仕様と現状システムで抱えるメタデータが連動することとなり、業務仕様の統制および流通・活用を支えることができます。

●業務仕様の再利用

ソフトウェア(業務アプリケーション)は、業務とIT環境のどちらが変更されても影響を受けます。
安定的で再利用可能な部品は、ソフトウェアではなく実装独立の業務仕様です。
また、Web化対応により、専用のクライアントソフトの導入なしに離れた拠点間でリポジトリ内容を共有できます。

●カスタマイズ可能

多くのリポジトリヘビーユーザは、既製品にはない独自のメタデータを追加したいと考えています。
THRepositoryは、DOA(Data Oriented Approach)により設計され、開発には、DBへの入出力を前提としたコンポーネントによる組立て型開発ツール『楽々Framework II(住友電工情報システム株式会社)』を採用しています。
そのため、管理データ(メタメタデータ)の追加など、リポジトリ構造のカスタマイズに対応することができます。

基本機能：2007年12月、Ver.3.0からVer.3.1にバージョンアップしました

メタデータ管理機能

「概念」と「物理」のレイヤーを分離することで、企業全体のメタデータの統合管理が可能となります。
また、ユーザ単位にアクセスレベルを設定することも可能です。
更新ログの参照やメタデータ間の不整合を防止するための管理機能が充実しています。

稼動環境

- リポジトリDB: ORACLE8i以上
- サーバ側OS: Windows2000, WindowsXP, WindowsServer2003
- クライアント側OS: Windows2000, WindowsXP, Windows Vista

※ WindowsXP, WindowsServer2003, Windows Vistaは、いずれも、32bit版のみ対応

ソフトウェア構成

- 【THモデラー】
概念・物理のデータモデル図の描画をサポートします。
また、各データモデルからメタデータの登録が可能です。
- 【IPFモデラー】
業務モデル図の描画をサポートします。
また、各業務モデルからメタデータの登録が可能です。
- 【リポジトリエディター】
メタデータの登録・更新は、モデル図からだけでなくエディターから直接行うことができます。

Ver.3.1では、実際のシステム開発・保守で有効な物理メタ管理機能と内部統制で求められるログ管理機能の強化を実施しました。
また、モデラーの操作性向上も図っています。

THモデラーの追加点	<ul style="list-style-type: none"> ・物理ファイルラベルの表示オプション追加 ・ズーム機能拡張 ・Windows Vista 対応
IPFモデラーの追加点	<ul style="list-style-type: none"> ・ズーム機能拡張 ・Windows Vista 対応
リポジトリエディターの追加点	<ul style="list-style-type: none"> ・物理インデックス管理機能の追加 ・物理インデックス構成管理機能の追加 ・DDL出力機能の強化 ・ログ管理機能の強化

お問合せ先: 株式会社データ総研 営業担当 TEL: 03-5695-1651 / E-Mail: crm@drinet.co.jp

株式会社データ総研

東京都中央区日本橋小伝馬町4-11サンコービル TEL: 03-5695-1651 FAX: 03-5695-1656 <http://www.drinet.co.jp>

1985年創立。データ設計と標準化に特化したITコンサルティングファーム。データ中心アプローチ(DOA)のパイオニアとして知られる。PLAN-DB®, PLAN-CODE®をはじめとする設計技法や開発方法論をベースに、わが国のリーディングカンパニー約260社を支援。800件を超えるデータ仕様ライブラリを有する。